## 私たちの学校「コレぞ自慢のオンリーワン」

県立学校がそれぞれの自慢のオンリーワンを自ら発掘し、各学校の魅力を地元の中学生や保護者をはじめ、広く県民の皆様にアピールするとともに、県立学校の魅力化を加速することを目的にした取組です。



玉翔エボリューション『新たな学びの創出』
~eラーニングシステム「moca」を活用した
新しい学びの形~

玉島商業高等学校では、「『遊びの道具』を『学びの道具』へ」をコンセプトに、全国でも珍しく、県下初のスマートフォン(以下スマホ)を活用した学習に取り組んでいます。生徒は自分のスマホを用いて各教科担当者からアップロードされた教材で学習できます。今年度からは、県内外から送られてくる求人票もアップロードしているため、全ての求人票を保護者と一緒に自宅に居ながらスマホで確認できます。



→ 対象性交流30年 ~差異の先にある人間交流~

高梁高等学校は、平成3年2月に、南オーストラリア州のアデレードにあるノーウッド・モリアルタ高等学校と姉妹校協定を結び、以来、隔年で相互訪問を行っています。延べ500名以上の生徒・教職員がこのプログラムに参加し、両校間の友好・親善、また、異文化理解・国際理解教育を推進しています。

また、平成30年度、高梁市はフランス・リョン市のアンペール高等学校と教育交流協定を締結し、今年4月22日に、アンペール高等学校訪問団の受け入れが実現しました。今後は、高梁高等学校からアンペール高等学校への訪問も計画しています。



持続可能な社会づくりの担い手の育成 「バイオマス産業杜市真庭」で再生可能エネルギーを探究

勝山高等学校の地元真庭市は「SDGs 未来都市」に選定され、豊富な森林資源を生かしたバイオマス発電所やCLTの利活用など、持続可能な地域づくりで全国最先端の取組が行われています。

勝山高等学校では、そうした最先端の取組について、探究学習「夢現プロジェクト(総合的な探究の時間)」で施設見学や体験などを行い、学習しています。



## 東備「登り窯」で焼く伝統工芸 「備前焼」

東備支援学校高等部では、作業学習「窯業班」として昭和 62 年の高等部 開設時から「登り窯」による備前焼製作に取り組んでいます。

備前焼作家と連携して、箸置き、マグカップ、干支、大皿、花瓶などの製作や販売等を通して、ものづくりへの誇り、販売の喜び等を味わい、「自立と社会参加」に必要な力を育んでいます。

これら4校の他にも、県立学校の自慢の取組を県教育委員会のホームページに公開しておりますので、是非ご覧ください。

コレぞ自慢のオンリーワン

検索

## コラム

## 高等学校の普通科改革の動向について

これからの高等学校には、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による、急激な社会的変化が進む中、生徒に Society5.0 を生き抜く力を身に付けさせるとともに、新たな社会をけん引する人材や地域を支える人材の育成につなげていくことが求められています。

普通科においては、これまで、主に大学等への進学を希望する生徒が、国語や数学などの普通教科を中心に学習を行っており、生徒の多様な進路希望の実現に向け、 各高等学校がコースや類型を設けたり、単位制を導入したりするなどの工夫も行いながら、教育活動を進めてきました。

一方で、「教育内容が一斉的・画一的で、学習意欲が高まる内容になっていない」「受験対策を重視しすぎるあまり、受験に最低限必要な科目以外について、真剣に 学ぶ動機を低下させている」等の課題が挙げられています。こうしたことから現在、国において、文系・理系の類型にかかわらず様々な科目をバランスよく学ぶことや STEAM 教育\*の推進、地域社会や高等教育機関との協働による教育の在り方などについて、検討が行われています。

本県においては、こうした国の動きも注視しながら、普通科において、グローバル化に対応した教育活動や地域と一体となった教育活動の実施、生徒会活動や部活動の活性化等を進めながら、将来の職業を見通した特色あるコースや類型の設置、インターンシップの充実等について検討を行うこととしています。

※ Science(科学), Technology(技術), Engineering(工学), Art(芸術), Mathematics(数学)等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育